

築文部科学副大臣面談報告書

日時 : 2022年9月6日(火) 10:15~10:30

場所 : 築和生文部科学副大臣室

面談者: 築和生文部科学副大臣

< 函友連 > 5名

< 函友連 >

要望書を手交し、阿曾代表より要望書5項目の説明。司書数が減っていることなど、資料を提示し、説明する。

< 築副大臣 >

○図書館友の会全国連絡会の皆様におかれましては、日頃からのご尽力に敬意を表したいと思えます。

○公立図書館は重要な社会教育施設であり、デジタル化の急速な進展など変化する社会の中で、障害者を含めた多様な地域住民のニーズに対応できる情報拠点としての新たな役割も求められると考えています。

○現在、第5次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定に向けて子どもの読書に関する有識者会議が行われており、地域の公共図書館の役割についても、しっかりと次期計画に盛り込めるよう取り組んでいきたいと思えます。

○指定管理者制度については、指定管理の図書館で貸出数が増えているところもありますが、詳細については、今後分析を行っていく予定です。

○司書の育成については大変重要であり、国としても、中長期的に研修に力を入れているところです。

○地方交付税などをしっかり活用していただき、図書館の振興につなげていただきたいと思います。

< 函友連 >

面談時間終了となったので、参加者より一言ずつ述べた。

(文責: 船橋佳子)